

平成26年度「日向市男女共同参画推進審議会」が開催されました。

男女共同参画推進審議会は、「日向市男女共同参画推進条例」に基づいて設置され、男女共同参画社会の形成の促進に関する施策及び重要事項を調査審議していただく市長の附属機関です。

平成26年度第2回日向市男女共同参画推進審議会が、平成26年11月21日（金）に開催されました。

**【第2回日向市男女共同参画推進審議会】**

日時：平成26年11月21日（金）午後1時30分から午後3時00分

会場：日向市役所2階 第4委員会室

## 会 議 録

会議の名称	第2回日向市男女共同参画推進審議会
開催日時	平成26年11月21日（金） 午後1時30分～3時00分
開催場所	日向市役所2階 第4委員会室
出席者	植田委員、直野委員、中城委員、塩月委員、寺町委員、切通委員、松村委員、林田委員、黒木委員、橋口委員 事務局 2名
議 題	「第4向日向市男女共同参画プラン」関連事業平成25年度施策実施状況報告書について
会議資料の名称 及び内容	「第4次男女共同参画プラン」関連事業平成25年度施策実施状況報告書
記録方法	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>開会 会長あいさつ 地域コミュニティ課長あいさつ 議事 「第4向日向市男女共同参画プラン」関連事業平成25年度施策実施状況報告書について</p> <p>会 長：事務局から資料の説明をしてもらった後、委員のみなさまの忌憚のないご意見をいただきたいと思う。</p> <p>事務局より配布資料「第4向日向市男女共同参画プラン」関連事業平成25年度施策実施状況報告書について概要を説明。</p> <p>25年度実施事業について、各課から提出された事業実施状況報告書に基づき、プラン体系「重点的に取り組むこと」別にまとめたものを、資料に沿って説明する。</p> <p>委 員：4ページの25年度施策事業担当課評価の中で、チェックポイントが5項目あるが、チェックポイント毎に、該当する事業数のうちの達成事業が何事業あったかを書いた方がよりわかりやすいかと思うので、今後の課題として検討してもらいたい。</p>	

事務局：今後検討していきたい。

委員：全体的に、24年度から比べると達成事業数は増えており、結果的にはいい方向に進んでいるということで、評価できると思う。

委員：前年度の改善点等を踏まえた報告をされており、担当課の達成率等も増えていることに評価している。ただ、10ページの「女性の人権を侵害するあらゆる形態の暴力の防止と救済に向けた環境の整備」の今後の方向性・検討事項の欄に、虐待等についてはうたわれているが、DVについても今後の方向性があるといいと思う。

次に、15ページの評価に男女共同参画への理解度に職員の意識に温度差があると正直に評価してありうれしく思うが、職員の中に温度差があるのは、ひしひしと感じるところはある。担当者だけでなく全ての職員に関係してくることなので、男女共同参画の視点を持つ正しい理解、意識は必要だと思うので、今後も職員に対しても男女共同参画の推進に取り組んでいただきたい。

次に、関連施策・事業の数値目標で審議会等委員に占める女性の割合の目標が、日向市は40%と非常に高いものがあげられている。取組みが平成2年度から取り組んでいるためこのような高い目標値となっている。国としては、2020年までに30%という目標をあげている。高い目標値が示されていると思う。

日向市男女共同参画社会づくり推進ルーム協議会主催講座の満足度が平成25年度は91%、目標値は80%となっており、目標値が下がっていることに対してはどういう理由があるのか？

次に、総合評価の部分だが、7行目から8行目、「男女共同参画の視点をもった」とあるが、前文章では「視点に立った」という表現がしてあるので、統一した方がいいのかなと思った、私個人的な意見である。また、下から2行目の行政と市民、事業所、各関係機関の関係機関とはどういうところか？と思い、男女共同参画推進条例では、市民、事業所及び教育に携わる者とあるので、この関係機関は教育機関とした方がいいのかなと思ったところである。以上、気が付いたところを自分なりの意見として言わせてもらった。

事務局：10ページの今後の方向性、検討事項については、各課からの検討事項等を主な部分を抜粋して載せている。今後、検討していきたい。

委員：10ページについては、評価の部分で、DVについての研修が必要とあり検討事項としてうたっているのですが、検討事項は網羅されていると思うが、評価とは別に、各課からの今後の方向性、検討事項として取り上げた方がいいということであれば、今後検討していただきたい。

事務局：16ページ、関連施策・事業の数値目標値は、プラン作成時23年度に設定した数値であり、25年度はすでに目標値を達成している。

15ページの職員の男女共同参画社会への理解度・意識については、1年に1回は研修を設けているので、研修に参加して意識を改善してもらいたいと思っている。

17ページの、「視点をもった、視点に立った」の表現については、検討したい。行政と市民、事業所、各関係機関については、プランの文言と統一したところである。今後検討したい。

委員：確かに、15ページの職員の男女共同参画の意識の温度差については、一般、素人立

場でも、男女共同参画についてはまだ不明な部分もあるので、指導的立場の職員の方には研修等を受けてもらい、市民に対して行政的な指導を行っていただきたい。

委員：プランの取り組むこと1から10までの報告がされているが、この報告書にも、計画プランのページが記載されていると見やすいのではないかと思う。どのような事業を行っているかわかりやすいと思う。今後検討していただきたい。

また、6ページの5行目と2ページの3行目は「家庭・地域・職域・学校」とあり、1ページの本報告書の構成の部分は「家庭・職場・地域・教育」とあるが統一した方がいいのかな？と思う。

事務局：プランのページ数、文言については、検討していきたい。

文言等については、市民の方にわかりやすいように表現等、内容と照らし合わせていきながら整理していきたい。

委員：行政の会議等に参加するが、行政に携わったことがないので、このような文書を見るとわかりづらい。役所の出す文書はわかりやすい部分とわかりにくいところがある。評価や今後の方向性、検討事項については、もっと具体的に明記してあればわかりやすく、気持ちが入ってくるが、精神論で書かれていてわかりづらい部分がある。意見があってまとめたものがこのような形になっているのはわかるが、精神論だけでうたっている部分、役所の言いまわしなどもあるが、もっとわかりやすい文章にしてほしいのが、個人の意見である。

事務局：報告書については、各課から提出された分をまとめ、エッセンスだけを、客観的に市民に知らせる必要があるものをピックアップし、報告書を作成しているが、統一できていない部分もあるので、今後よりわかりやすいように検討していきたい。

委員：13ページの女性の公職参加状況のところ、市職員の管理職とあり、下の部分に市職員の役職（係長職以上）とあるのは、どういう分け方なのか？

事務局：市職員の管理職は、主幹以上であり、下段にわかりやすいように記載したい。

委員：7ページの今後の方向性の部分で、「男女共同参画の推進ということで、則した」とあるがどういう意味なのか？

委員：「今後も男女共同参画の推進に則した・・・」という書きの方が、わかりやすいのでは？

事務局：担当課とも確認したい。

市民や職員を対象にいろいろな研修をしているが、時間が限られており、聞く方も長くて1時間半が限度かと思う。今回は人権に詳しい講師、今回は男女共同参画について話をしてもらおうというように、ある程度分野を絞って話をさせていただき講師を選定していく方法が一般的であるが、人権も男女共同も一緒にし、あえて垣根をつくらずに人権も同和も男女共同もDVも総括的に話をするような専門の方を呼んで市民向けの講演会や職員研修をこれから考えるべきなのではないかとも思う。市民の方、聞く方もポイントがばらけると何を聞いていたかわからないという人もいれば、いろんなことが聞けて勉強になったという人もいるかと思うが、皆様のご意見をお聞かせいただきたい。

委員：あえて、男女共同とか人権とか、分けなくてもそのようなことに繋がっていく社会になった方が本来ならいいのではないか？

話を区切って聞くよりも、分けなくても聞く方が理想ではないかと思う。

委員：一つの事だけに集中すると話が奥まで聞くことができるかもしれないけど、二つぐらいの目的に絞ると残ると思う。感じるころはそれぞれ個人差があると思うが、全般的に浅くしていくと、残らないのではないかな？

事務局：今年の「ひまわりフォーラム」に、登山家の田部井さんと呼んで講演をしてもらったが、テレビに出ていただけに、会場満杯であった。講演の途中で「今日は男女共同参画の話をしなさいといけなかったですね？」と言っていた。それでも、講演を聞いている方にとっては、男女分け隔てなく、田部井さんがいろんな活動をされており、女だから男だからという意識は特になかったような話をされており、たくさんの市民の方に聞いていただいたのでよかったのかな、と思った。詳しいけど名前の売れていない専門家を呼んでも市民がなかなかおいでいただけなくて、500人入る会場に200人しか入らないよりは、500人入っているいろんな話を聞いてもらう方がいいのかなと思う。

委員：私も同感で、男女共同参画推進講座というとなかなか参加しにくいけど、顔の知れた人が講演してくれて、その中で、自分の経験を話してもらい、その中に一つでも、男女共同参画ってこんなことか・・・と頭に残るといいのかなと思う。

事務局：また、講師の要望があれば教えて欲しい。

委員：日向市は、男女共同参画については進んでいる方ではないかと思う。少しずつ、少しずつ取り組んできた結果だと思う。継続していくことが大切であり、いろんな事業をし、まとめていくことは大変なことだと思うが、少しずつでもやっていくことが大事だと思う。

会長：他に意見がなければ、この報告書案で承認ということでよろしいか？

委員：全員承認

閉会